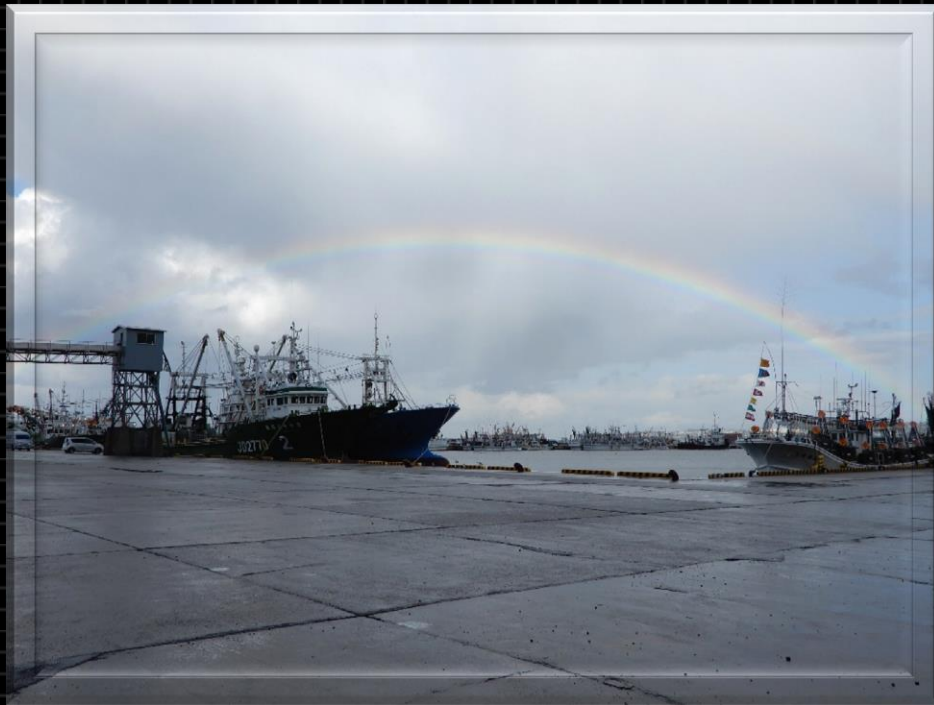


八戸圏域高等学校地域活動促進事業

海で働く若者たち ～その想いを知る～



八戸水産高等学校

海洋生産科

漁船・漁業研究班

目的

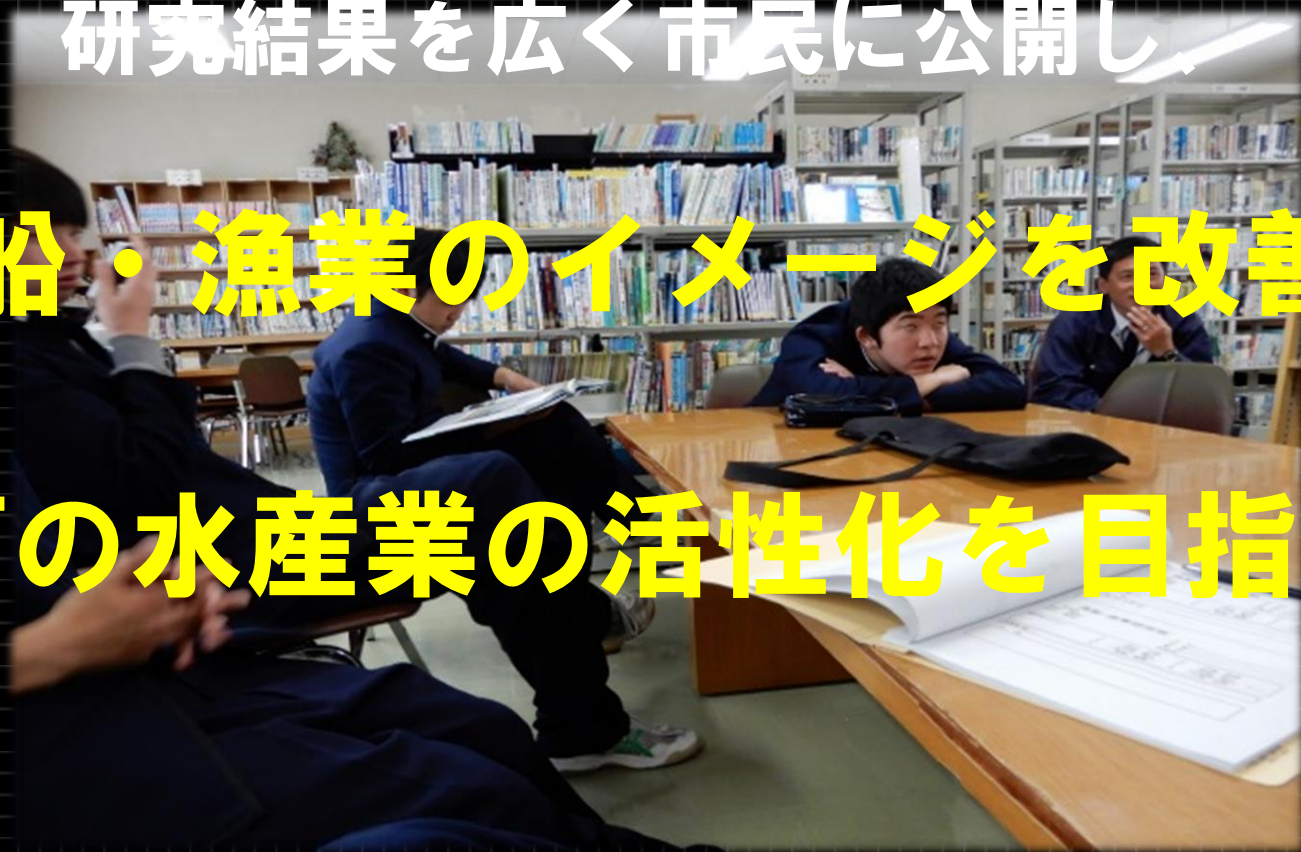
船や船員を調査し、何か地域に貢献できないか？

漁船・漁業に興味を持ち、深く知ることで
将来の漁業従事者としての資質を高める。

研究結果を広く市民に公開し

漁船・漁業のイメージを改善!!

八戸の水産業の活性化を目指す!!



年間活動計画

4月 研究内容の決定

事業計画の検討

8月 事前打ち合わせ

9月 インタビュー

まとめ

5月 事業計画立案
インタビュー内容の
検討・決定・開始

10月 インタビュー

ビデオ編集

アンケート集計

6月 情報収集 会社訪問

11月 ビデオ編集

アンケート調査

7月 助成金交付決定

まとめ

12月以降 結果の放映展示

資金調達のため 事業に応募

『八戸圏域高等学校地域活動促進事業』

15万円を申請

**調査研究のための
交通費などを確保**

調査研究の方法①

アンケートによる調査

1 船名 トン数 7 漁師になった理由

2 船籍港 船の種類 8 漁師になって良かったこと 悪かったこと

3 乗組員数 9 給料額

4 漁法 10 船での楽しみ 良かったこと 悪かったこと

5 出身校 11 今の夢

青森県立八戸水産高等学校
海洋生産科課程研究:漁船・漁業研究班2017年度

1、船名 トン数

2、船籍港 船種 漁船 商船 その他

3、乗組員の数 1~5 5~10 11~20 21~30 それ以上 外国人 乗船なし

4、何の漁業法 トロール イカ釣り 巻き網 小笠 その他()

5、出身校・出身国 日本 外国どこ 帰国府県

6、年齢 あなたは35歳以下か? 60以上 50代 40代 30代 20代 10代

乗船乗組員年齢構成 ○ ×

7、漁師(船員)になった理由

8、漁師(船員)になって良かったこと、悪かったこと

9、給料はいくらぐらいですか?
給料 だいたい月額で記入する。

10、船での楽しみ 良かったこと、辛いこと

11、今の夢

12、今の高校生や、市民に向かって、あなたが乗っている船、または船員のビジュアルをしてください。

調査研究の方法①

アンケートによる調査

対象：以下に所属する35歳以下の就業者

八戸機船漁業協同組合

八戸市南浜漁業協同組合

八戸みなと漁業協同組合

(株)福島漁業

会社を訪問し、アンケート用紙を配布
回答を依頼した

対象者 約120人 回答者数は58人

研究調査の方法②

現地インタビューによる調査

漁船員に

直接インタビュー&ビデオ撮影

プライバシーポリシー（同意書）を作成



調査研究の方法②

現地インタビューによる調査

調査回数 8回

調査数 10隻



情報収集

・(株)福島漁業

会社の現況、巻き網
乗組員の年齢構成、
何のために働くか、



水産事務所

動向について
育成事業について
について

結果を公開するために

・映像のまとめ(DVD)、4タイトル制作

- ① エピローグ
- ② 19歳青年
- ③ 21歳インドネシア人
- ④ 漁労長の想い



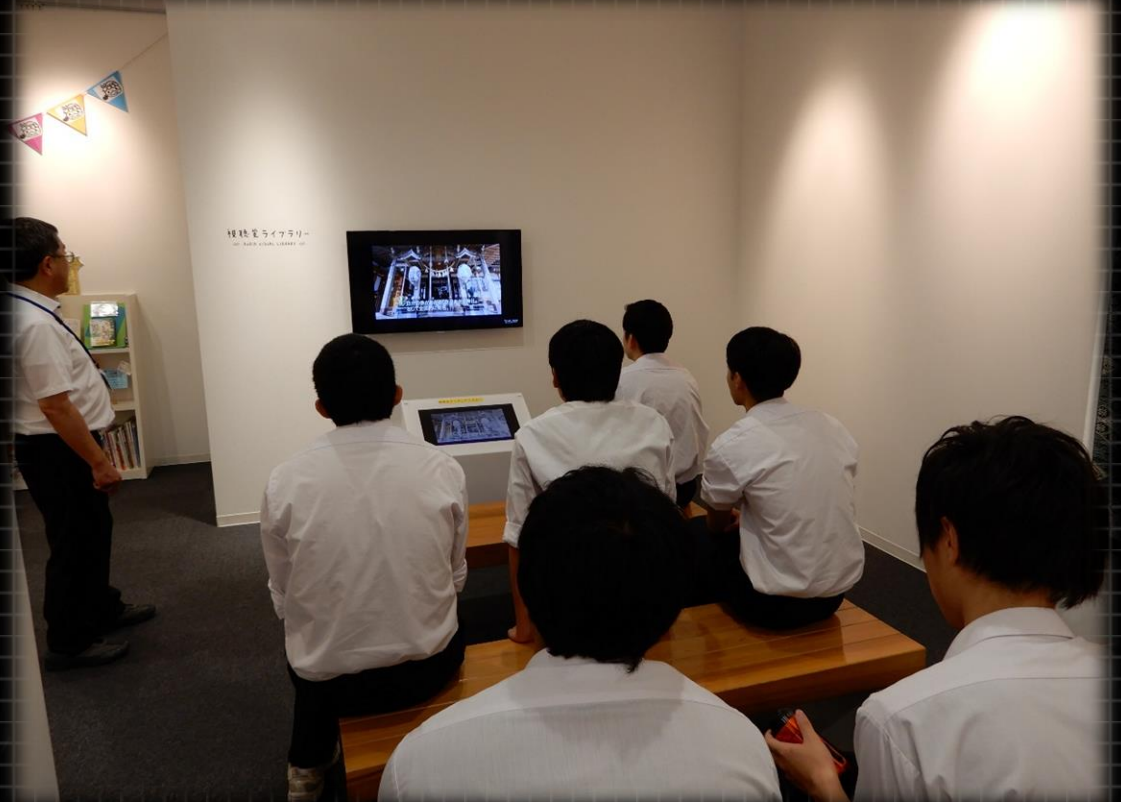
・展示パネルは2枚制作



協力依頼①

八戸市博物館

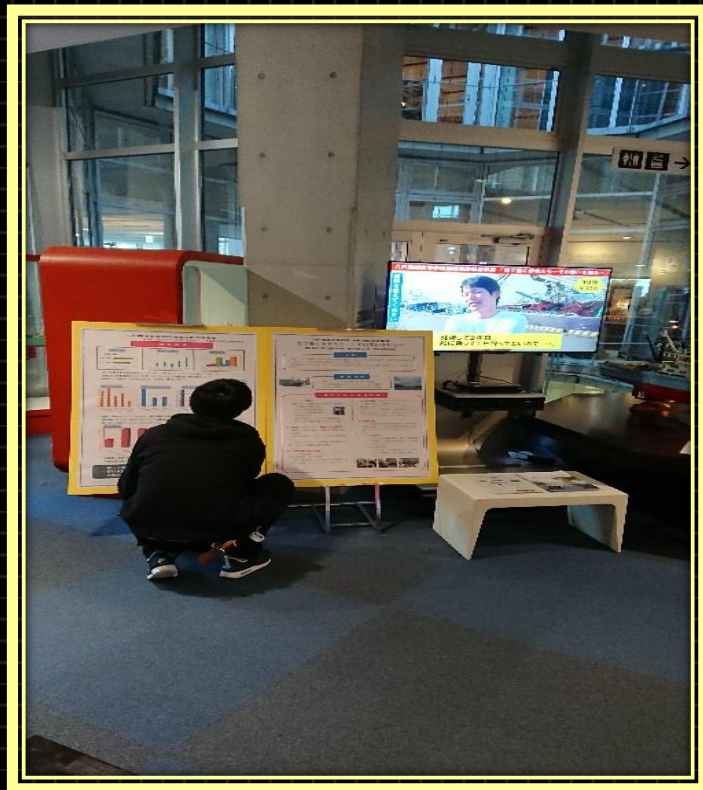
・完成したDVDビデオの内容を確認していただき、放映を検討してもらおう予定。



協力依頼②

はっち

1月13日から1月30日
2階 観光展示スペース
DVD放映 パネル展示



協力依頼③ マリエント

12月21日から1月17日

3階 受付横

DVD放映 パネル展示



アンケート結果から

- ・ 30代以下の若い乗組員は、増加傾向にある。
- ・ 給料は平均的に高いと感じた。
- ・ 乗組員は、もともと漁師に興味があったり、親などが漁師である人が多かった。
- ・ 給料、休暇の面では満足度が高く、拘束時間や仕事のきつさがつらい。
- ・ 海技資格を取得し、役職上位を目指している方が多かった。

苦労点

- 漁船のスケジュールと
授業時間のミスマッチ
- 悪天候

予定していた調査が実施できない。



苦労点

- ・突撃インタビューは、とても勇気が必要でかなり緊張した。
- ・休日も登校し、集計・編集に取り組んだ。



今後の予定

- 進路選択の参考に、授業でも活用してもらおう。
- 動画投稿サイト等を利用する際の条件や問題点の整理（著作権、肖像権、個人情報・・・）
- 広く発信する方法を模索する。

感想

- 新造船が多いため、**船内はきれい**。
漁船のイメージが変わった。
- 実際に働いている方々は、
「若い力」を待ち望んでいた。
- **「今後の漁業と一緒に
盛り上げていきたい」**
という想いを感じることができた。

漁船・漁業研究班



青森県立八戸水産高等学校